

中期経営計画

スター精密株式会社

<http://www.star-m.jp>

証券コード 7718

中期経営計画

■ 中期経営方針	P 2
■ 業績目標	P 4
■ 事業別戦略・目標	P 5
■ 数値目標	P 9
■ 株主還元	P 10

中期ビジョン

先進のソフトウェアと融合した精密加工技術により、
顧客満足の最大化を図り、
創出した付加価値の分配により、
全てのステークホルダーの幸福を追求する
グローバルニッチ企業

基本方針

① 既存事業の変革

- IoT社会の中で求められる精密加工技術の追求
- ソフトウェア技術を融合した事業体への変革
- 付加価値を最大化する生産体制の追求

② 新規事業の創出・育成

- 第4の事業の創出（M&A、事業提携等）
- 新規事業、新製品の育成（振動発電、クラウドサービス等）

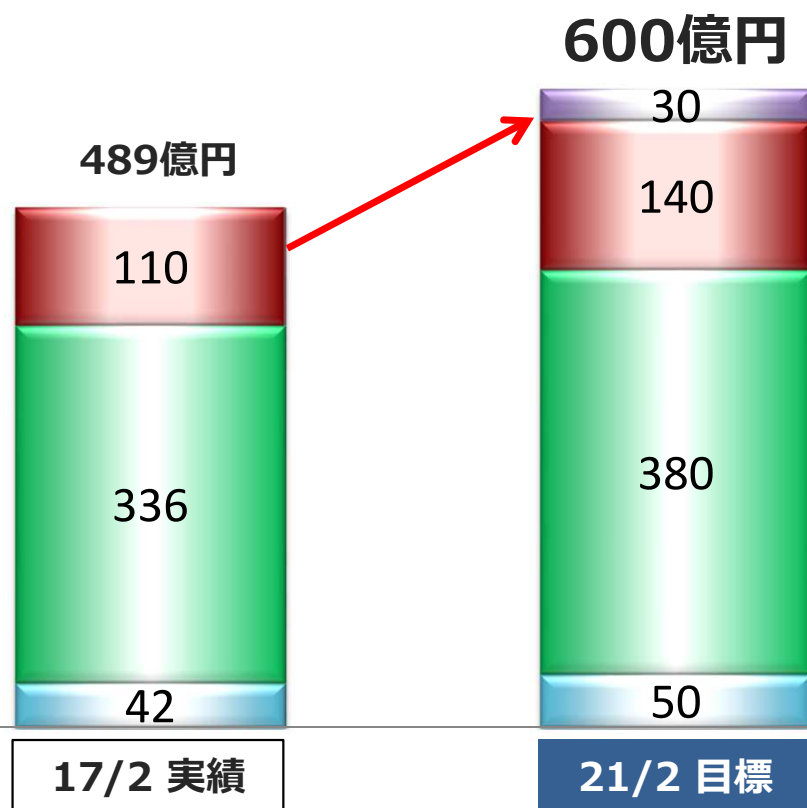
③ 真のグローバル企業への変革

- グローバル人材の育成、登用
- さらなる販売チャネルの強化

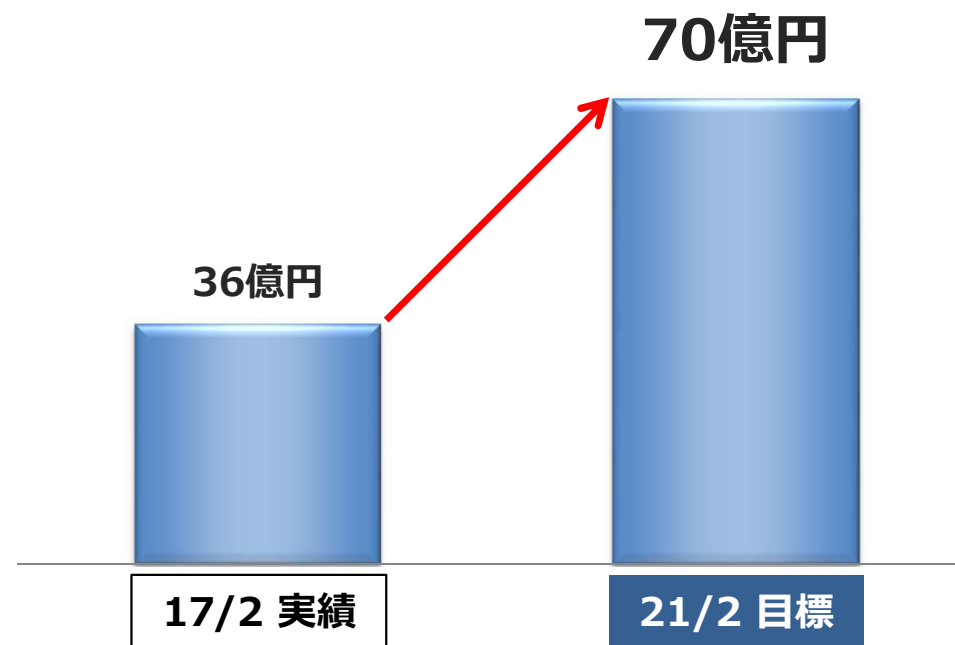
既存事業の拡大と新規事業による成長

売上高

■ 特機
 ■ 工作機械
 ■ 精密部品
 ■ 新規事業



営業利益



		17/2 実績	21/2 計画
為替レート	US \$	108.87円	110.00円
	EUR	120.36円	115.00円

戦略（重点施策）

- 高付加価値製品の開発
- Brexitを見据えた欧州販売拠点の再編
- サプライチェーン効率化によるコストダウン

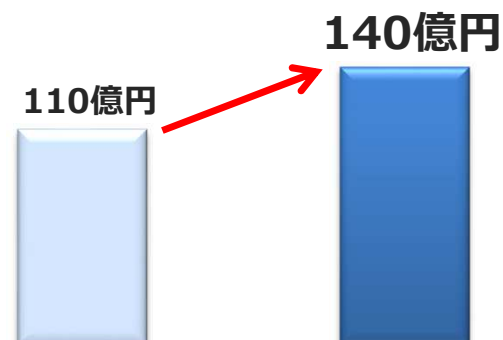


数値目標

売上高

17/2 実績

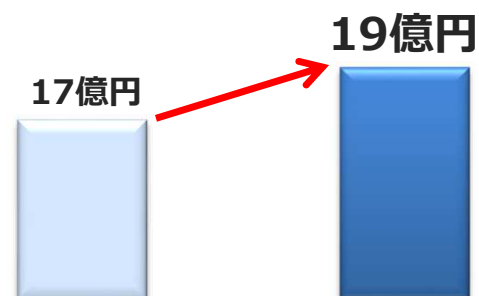
21/2 目標



営業利益

17/2 実績

21/2 目標



戦略（重点施策）

- 主軸固定型自動旋盤のシリーズ化
- IoT関連ソフトの開発
- モジュラー設計・生産によるリードタイム短縮と在庫削減
- 中国におけるサービス体制強化

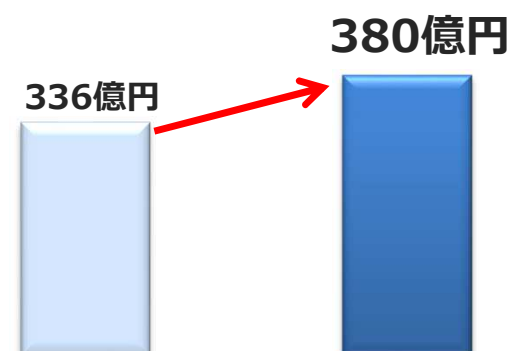


数値目標

売上高

17/2 実績

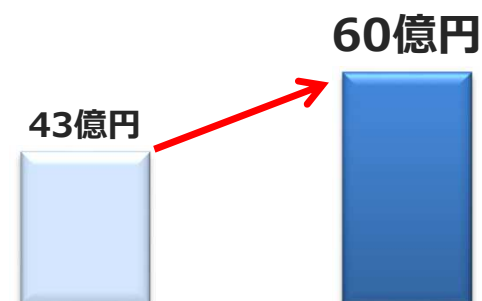
21/2 目標



営業利益

17/2 実績

21/2 目標



戦略（重点施策）

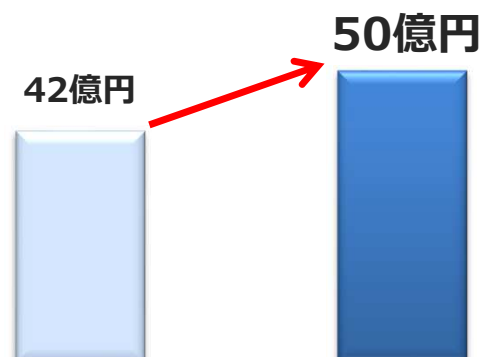
- 新規顧客および市場の開拓
- 生産の合理化・無人化の推進
- IoT活用による稼働率向上

数値目標

売上高

17/2 実績

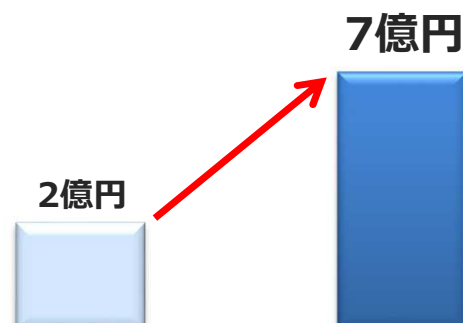
21/2 目標



営業利益

17/2 実績

21/2 目標



数値目標 (21/2)

売上高

30億円

営業利益

3億円

戦略 (重点施策)

- M & A、事業提携等
- 振動発電
 - ・ 工場用センサーユニット、各種ビーコン
- クラウドサービス
 - ・ クーポンサービスによるマネタイズ

	17/2 実績	21/2 目標
売上高	489億円	600億円
営業利益	36億円	70億円
営業利益率	7.4%	11.7%
R O E	6.9%	12%以上

自己株式の取得を含めた総還元性向50%以上、
D O E 4.5%以上を目標とする

	17/2 実績	21/2 目標
総還元性向	(257.3%)	50%以上
D O E	4.1%	4.5%以上
1株当たり 配 当 金	48円	60円



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。